

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 見附市立見附小学校

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒954-0052  
新潟県見附市学校町1-3-89

E-mail misho@mitsuke-ngt.ed.jp

Website [www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/](http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/)

児童生徒数 男子 291 名 女子 285 名 合計 576 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

見附小学校では、ユネスコスクールに認定された平成22年度より、総合的な学習の時間や生活科に「花育」を位置付け、「人や自然との関わり」「生命あるものへの優しい気持ち」を大切に学習活動を進めている。5年間活動を続けていく過程で、活動内容を少しずつ見直しながら進めている。

平成27年度は、次の二つを柱として活動した。

- ① 前庭及び花壇プランターを活用した「見小っ子ガーデン・マイフラワープロジェクト」
- ② 見附市エコスクールプロジェクト

これらを通して、花や緑、人との関わりやつながりを大切にしようとする心情を育む教育活動を目指した。

以下、今年度実施した活動のうち、①について紹介する。

#### 見小っ子ガーデン・マイフラワープロジェクト

見附小学校では、総合的な学習の時間や生活科に花育を位置付け、E S Dの考え方を取り入れた「花育指導計画」を作成し、年間を見通した活動を進めてきた。

「栽培活動で、自らを取り巻く人々との協働作業を通して社会性を育むこと」「草花や野菜等の命ある植物の生長を『体験』『体感』させ、それを生かし、楽しむ活動を工夫すること」をねらいとし、それぞれの学年が以下のように活動した。

どの学年も、「自分の花（野菜）」を意識し、根元にネームプレート置いて、子どもたちが自分の花に愛着をもって世話する姿をねらった。水やりには、雨水を利用し、地球環境にも優しい活動を行うことができた。

#### ◆1年…生活科「大きくなってねアサガオさん」(個人プランターでのアサガオの栽培)

子どもたちが愛着をもってアサガオを育てる中で、アサガオの特徴や変化に気付く姿を目指した。

教室から目の届く中庭で、子ども一人一人が自分の鉢を用意し、身近に感じ世話しやすい環境の中でアサガオを栽培した。アサガオの生長の記録は、絵や言葉で残していった。

秋には、アサガオの種をとった。この種は、来年度の1年生にプレゼントする。見附小では、アサガオの種を年々受け継いでいる。さらに、アサガオの蔓を使ってクリスマスリースを作成した。成長したアサガオに思いを込めながら活動することができた。観察やお世話を繰り返し、継続して行うことで、子どもがアサガオに思いを寄せていく姿が見られた。



### ◆ 2年…おいしい野菜を育てよう

子どもたちは、どんな夏野菜を植えたいかを考えた。その後、苗を市（いち）に買いに行き、畑に植えた。「大きくなるといいな。」「早く食べてみたいな。」、子どもたちは、『自分の野菜』という思いをもち、一生懸命世話をしようと思いのこぼれに世話をした。夏には、次々と収穫される野菜に驚きと喜びを感じていた。

秋からは、大根の種を畑に蒔き育てた。地域の方を畑の先生として迎えたり、保護者ボランティアに手伝ってもらったりしながら、間引きや草取り等の世話をした。大根は大きく育ち、収穫時には、子どもたちの歓声が響いていた。そして、収穫した大根を使っておでん作りにチャレンジした。野菜嫌いの子も、進んでおかわりをするなど喜んで食べていた。



### ◆ 3年…前庭花壇に大輪ヒマワリを咲かせよう ヒマワリロード

3年生は、学校の顔とも言える前庭花壇で一人一本ヒマワリを植えた。毎朝、登校すると、すぐに自分のヒマワリに水やりをし、生長を観察した。

夏季休業中の世話についてグループで話し合い、世話を続けた。9月には、子どもたちの背丈を大きく超す立派な大輪のひまわりを咲かせることができた。子どもたちは、自分のヒマワリの大きさを笑顔でおうちの人や担任に伝えていた。

秋には、ビオラを植えた。秋の文化祭シーズンには、学校を訪れる人々の目を美しい花々が楽しませていた。同時に、卒業式に向け、サクラソウ栽培を行った。卒業生への感謝を込めて、係児童を中心に水やり・追肥している。



### ◆ 4年…前庭花壇を鮮やかに飾ろう

4年生は前庭の花壇を色とりどりに飾るため、サルビアやベゴニア、マリーゴールドを選び、3つの花壇にそれぞれ植えた。初めはなかなか大きくならなかったが、それでも、「毎日、世話をすると、大きくなるんだよね。」と言いながら、毎朝水やりをしたり、草取りをしたりして世話をする姿が見られた。夏休みは当番を決め、水やりを連日行った。夏に大きく育ってきた雑草を進んで取る姿が見られた。中には自分の当番でない日に何度も来て世話をする子もいた。秋には、ビオラを植えた。春に花が咲き、花壇を飾るのを楽しみにしている子どもたちである。





### ◆5年…前庭花壇を飾ろう 大きく育てよう、メランポジウム！

昨年、5年生は、背丈の高くなる花を選んで育てた。今年度は、また違った咲き方をする花を選ぶことにした。メランポジウムである。メランポジウムを植えるに当たり、「メランポジウム博士になろう」と、植え方や世話の仕方を調べた。この花は、小さい花をたくさん付けながら、丸くドーム状に株が太っていくという特性があることが分かり、隣の株との距離を充分にとるために、2列にジグザグ状に植えることにした。

夏場はたくさんの水が必要ということも調べてきた子どもたちは、毎朝・毎夕の水やりを一生懸命に行った。学んで得た知識をもとに、世話の仕方を工夫した成果が、夏から秋の中旬にかけてきれいに咲き続けるという結果に表れた。



### ◆6年…伝統の見小花樽プランター

6年生は、玄関の花樽プランターを担当した。ウイスキー樽のプランターであり、39個ある。以前は地区ごとに担当していたが、昨年度から6年生が担当することになった。

学級の4人グループごとに、花の色や背丈、花数などのバランスを考え、購入計画を立てた。きれいな花樽になるよう毎日の水やりや草取りなどに一生懸命取り組んだ。仲間とアドバイスし合ったり、お互いの花樽をほめ合ったりすることで、自分たちの花樽への愛着を深めていった。きれいな花が咲き続け、花を大切に育てようとする心を育てることができた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）